

ミカン生育情報

千 葉 県
平成 30 年 11 月号

平成 30 年 10 月の気象

平成 30 年 10 月の半旬別の気象を表 1 に記した。平均気温は、第 4 半旬を除く 5 半旬で平年並みか高かった。月平均気温は 18.9℃で、平年より 1.0℃、前年より 1.2℃高かった。

降水量は、第 6 半旬を除く 5 半旬で平年を下回った。月合計は 123mm で、平年の 49%、前年の 23%であった。

日照時間は、第 3 及び第 4 半旬を除く 4 半旬で平年を上回った。月合計は 151 時間で平年の 110%、前年の 153%であった。

表 1 平成 30 年 10 月の気象 (暖地園芸研究所)

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	21.0	20.5	19.8	28	41	14	22	20	12
2	22.5	18.8	19.7	1	77	102	37	20	28
3	18.6	18.6	19.5	21	31	38	5	22	19
4	17.5	17.6	14.5	2	36	71	15	23	6
5	16.5	16.4	17.6	5	28	183	35	23	6
6	17.8	15.9	15.4	68	38	119	38	29	29
平均/計	18.9	17.9	17.7	123	250	525	151	137	99

果実の生育

10 月 30 日現在の果径を表 2 に示した。

横径は、「興津早生」、「大津 4 号」及び「青島温州」の 3 品種を各地区の平均で見るとそれぞれ 6.7cm、7.6cm、7.3cm であった。平年と比較するとそれぞれ 3%、6%、3%大きかった。

縦径は、「興津早生」、「大津 4 号」及び「青島温州」の 3 品種を各地区の平均で見るとそれぞれ 5.2cm、5.2cm、5.1cm であった。平年と比較するとそれぞれ 4%、4%、2%大きかった。

前回調査から今回調査までの肥大量は平年を下回っている調査地・品種が多かった。前年との比較においても、前年の肥大量を下回っている調査地・品種が多かった。

果形指数は、3 地区の平均で見るとそれぞれ 1.3、1.5、1.4 であった。平年及び前年とは同程度であった。

表 2 果実の発育 (10 月 30 日の果径)

品 種	調査地	横 径(cm)			縦 径(cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
興津早生	三芳地区	6.7	6.6	6.2	5.3	5.1	5.0	1.3	1.3	1.2
	千倉地区	6.1	6.3	5.9	4.6	4.8	4.7	1.3	1.3	1.3
	暖地園研	7.2	6.7	6.8	5.7	5.1	5.2	1.3	1.3	1.3
	平 均	6.7	6.5	6.3	5.2	5.0	5.0	1.3	1.3	1.3
大津4号	三芳地区	7.8	7.0	7.5	5.6	5.0	5.2	1.4	1.4	1.4
	千倉地区	7.2	7.2	7.3	4.8	4.8	4.8	1.5	1.5	1.5
	暖地園研	7.7	7.4	7.3	5.2	5.1	4.7	1.5	1.5	1.5
	平 均	7.6	7.2	7.4	5.2	5.0	4.9	1.5	1.4	1.5
青島温州	三芳地区	7.7	7.0	7.1	5.5	5.1	5.2	1.4	1.4	1.3
	千倉地区	6.7	7.0	6.7	4.6	5.1	4.7	1.5	1.4	1.4
	暖地園研	7.6	7.2	7.4	5.1	4.9	4.9	1.5	1.5	1.5
	平 均	7.3	7.1	7.1	5.1	5.0	5.0	1.4	1.4	1.4

各地点の各品種の値は 40 果の平均 ただし、鳥害、落果、台風害により調査果実を変更した樹がある
果形指数は、横径/縦径

「興津早生」の果実品質

「興津早生」の果実品質を表3に示した。

着色程度については、すべての調査区において平年より高かったものの、暖地園芸研究所においては前年より低かった。

糖度は、三芳地区と千倉地区で平年及び前年より高かったが、暖地園芸研究所においては平年並みで、前年より低かった。

酸度は、すべての調査区で平年及び前年より低かった。酸度の平均は0.82%で、1%を下回っており果実の減酸が進んでいた。そのため、甘味比はすべての調査区で平年及び前年を上回った。

果肉歩合は、三芳地区で平年を下回った。

表3 「興津早生」の果実品質（平成30年10月30日）

調査地	着色程度			糖 度%			酸 度%			甘味比			果肉歩合%		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
三芳地区	7.8	6.8	7.3	10.5	9.5	10.1	0.78	0.99	0.83	13.5	10.1	12.1	62.9	80.9	82.1
千倉地区	8.0	7.4	6.0	10.3	9.7	9.2	0.91	1.15	1.04	11.3	8.6	8.8	82.5	82.0	84.3
暖地園研	7.3	7.0	8.7	8.9	8.9	9.6	0.77	1.03	0.86	11.6	9.0	11.1	82.7	82.1	82.9
平均	7.7	7.1	7.3	9.9	9.4	9.6	0.82	1.06	0.91	12.1	9.2	10.7	76.1	81.7	83.1

平年値は平成10～29年の平均値

甘味比＝糖度／酸度

果肉歩合＝果肉重／1果重×100

11～12月の栽培管理

早生・普通温州の収穫・予措

品質を揃えるため、着色に合わせて収穫する。浮皮は着色後に発生するため、8分着色以上の果実を先に収穫し、分割採取とする。

収穫・運搬・選果の際には、果実に傷がつかないように丁寧に取り扱う。

その後、腐敗防止のため、コンテナの8割ほどまで詰め、風通しの良いところへ置き、2～3%減量させる予措を行う。

病害虫の防除

ミカンハダニやカイガラムシが多い園では、収穫後にマシン油乳剤を用いて防除する。樹勢の弱い樹や寒害を受けやすい園地では、寒い時期の散布を避ける。また、台風の被害で著しく落葉した樹では、散布を見合わせる事が望ましい。

青かび病・緑かび病の予防にはベフラン液剤25（2000倍液）＊を散布する。

防除に際しては、千葉県農作物病害虫雑草防除指針を参考に行う。

※農薬の登録内容は変更になる場合があるため、農薬使用の際は最新情報を確認する。

なお、表の数値は表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計は一致しない場合があります。

《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961

※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>